

# 筑西市少年の主張大会

✿筑西市長賞



協和中学校3年  
もろえしおん  
諸江紫音さん

『違いは面白く、

美しい』

「お子さんは、思春期早発症です。」

小学二年生の夏、医師から告げられました。詳しい話はよくわかりませんでした。(みんなより成長が早いんだ。この調子で成長すれば、お母さんの身長をこせるかな。)と、未来の自分に大きな期待を抱きました。

月に一回の通院が始まりました。(なんでこんなに注射をうつんだらう。本当に注射は嫌い。身長が伸びるといつたって、こんなに注射ばっかりじゃ、ちっとも嬉しくない。)注射嫌いだった私は、この通院に何の意味も見出せ

なくなっていました。

四年生になりました。ある時、親と医師の会話を聞いて、耳を疑いました。私は、みんなよりも成長が早かった分、早く成長が終わってしまうというではありませんか。身長も一四〇cmを超えられるかどうか分からない状況だったのです。一寸先は闇。まさか自分の未来がそうになると、誰が予想したことでしょう。私の期待は崩れ落ちました。(悔しい！悔しい！私は、大人になっても小さいの？そんな自分は嫌だ。なんとか身長を伸ばしたい。医師の予想なんて知らない。絶対身長を伸ばそ

う！)そう決意しました。

それからというもの、身長を伸ばす方法を調べ、良いと言われることは片っ端から試しました。家族も、そんな私を応援してくれました。一緒に身長についても考えてくれました。

数年後、長期にわたる治療が終わりを迎えました。私は、医師の予想よりも十cm高く伸びました。医師は驚きながらも、一緒に喜んでくれました。(頑張つて良かった。)私は、とても幸せな気持ちでした。

周りの友達にも、いよいよ成長期が始まりました。みるみるうちに、何人かの友達に身長を抜かされました。そして、中学に入学する頃には、大半の人が私よりも背が高くなっていました。一人、また一人と身長を抜かされるたび、私の不安はどんどん膨れ上がってきました。

9月11日、コミュニティプラザで、青少年育成筑西市民の会(稲見信夫会長)主催による「少年の主張大会」が開催されました。

例年、大勢の生徒の前に、市内中学校の代表者が発表する大会ですが、今回は感染症予防のため、傍聴は審査員など最小限にして開催。この日、市長賞と議長賞に選ばれた作品を紹介します。

「チビ!」「前はみんなよりも背が高かったのにね。」と皮肉まじりに言われるようになってきました。(冗談で言っているんだらう。)(悪気はないんだらう。)と、初めは聞き流せたことも、しだいに重くのしかかってきました。

(ごめん。本当にごめんね。あなたの期待に応えられなくて。)小一の自分を裏切ってしまった気持ちと、言葉に言い表せないほどの罪悪感と悲しさで、泣いてしまったこともありました。応援してくれた医師や家族にも、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

(もしもこんな病気じゃなかったら...)と自分の疾患を憎く思うこともありました。こんな自分は嫌いでした。コンプレックスの塊でした。

中一の冬、私はある動画と出会いました。内容は、様々な人種や年齢の少女たちが、

美や体型について考えるものでした。「それぞれ人間性が違って美しい。」「自分らしさが大切。」「私よりも幼い五、六歳の子供も、自分に自信をもって話しているではありませんか。にわかには信じられません。真つ直ぐで、大人で、とても美しいと感じました。動画を見終えた頃には、涙があふれました。(こんな私でも、自分らしさがあって素敵なんだ。)少女たちは、私に自分らしさという美しさを、自分らしく生きる勇気を、そして、自分自身を見つめる目を与えてくれました。

少しずつですが、コンプレックスと向き合えるようになります。(これは、自分だけの個性なんだ。)そう思えるようになったことで、私は、自分のことが好きになりました。

もしも、私は過去の自分に

会つたら、こう言います。「大丈夫、あなたはたくさん努力してきたんだもの。悩むことなんてない。自分だけの個性なんだから、自信をもつて！」世の中には、自分にコンプレックスを持つ人が、たくさんいることでしょう。時には不安に押し潰されることや、罪悪感が大きくなることもあると思います。私は、このように人たちの不安を少しでも

## 筑西市議会議長賞



下館中学校 3年  
おおわ れいみ さん  
大和 玲美さん

「常に笑顔でいなさい。」私の大好きな祖母から教わった言葉です。私の祖母は、とてもやさしく、料理が上手で、人のために動くことができます。一方で、少し不思議なところもあり、急に歌を歌ったり、ダンスを踊り始めて笑わせてくれたりします。私はそんな祖母が大好きです。祖母は神奈川県に住んでい

軽くし、考え方をポジティブに変える手伝いをしたい。そして、これはコンプレックスではなく個性なんだと、自分も周囲の人も受け入れられる世の中を作りたい。皆さん、コンプレックスや個性の見方を変えましょう。一人一人の考え方や見た目が違うことは、面白く、美しいのです。

## 『常に笑顔で』

て、年に二回ほどしか会えません。ですが、会いに行くと必ず笑顔で迎えてくれます。祖母の笑顔には、たくさん救われたことがあります。悲しい時、辛い時、むしゃくしゃしている時、祖母の笑顔を思い出すと、心がすっと落ち着きました。ある時、私は祖母に「どうしていつも笑顔でいられるの。」と尋ねた事があります。

すると、祖母の弟が、私が生まれる前に亡くなってしまったことを話してくれました。悲しんだ顔をしていると弟が心配すると思った祖母は、「死んだ弟の分まで笑って生きよう！」と決めたそうです。祖母の笑顔の裏側には、辛い過去があったことに驚きました。

そんな中、コロナウイルスが全国に広まり、遊びに行くはずだった祖母の家に行けなくなっていました。代わりに、毎日電話をすることに。今日あった出来事や何気ない冗談話を、長い日では一時間以上話すようになりました。そんなやりとりが約一か月経ったある日、私の家に一本の電話が入りました。祖母が倒れたというのです。私はこの言葉を聞いて思わず泣き出してしまいました。とても心配でたまらず、今すぐにでも会いに行きたいけれど、会いに行けない日が続きました。お医者さんには「もしかしらたら…」と言われたこともあり、ひどくショックを受けました。「もうあの笑顔を見ることはできないのかな

。。」と、一人で祖母のことを考え、涙する日が続きました。

すると、数日ぶりに病院から電話があり、祖母の状態について話してくれました。

そこで、看護師さんから驚く言葉を聞くことができた。「おばあちゃんね、いつもにこにこしていて、特にお孫さんの話をする時は、楽しそうに満面の笑みでお話してくださいませ。」

私は驚きました。一番辛いのは祖母のはずなのに。それでも暗い顔を見せず、誰に対しても笑顔で接している姿を想像すると、明るさだけではない、心の強さまでも感じました。

そんな祖母は、今では少しずつ元気になり、家族と話せるようになりました。

笑顔の効果を調べて見たところ、笑顔は人の健康に良い影響を与えするという研究結果がありました。笑うことで人の脳への血流が良くなった、免疫力が高まったりするそうです。また気持ちの面でも、笑顔でいれば心が軽くなるし、目の前の課題も乗り越えていけるような前向きな気

持ちになるそうです。

だから、笑顔には人の体も心も健康にする力があるので。私が笑顔で接すると、友達も自然と明るい気持ちで接してくれます。

「笑顔は、あなたを信頼しています」というサインとして効果的であり、その笑顔を通じて相手も信頼をおき、協力関係を築くことができます。」とも書かれていました。

ただ、今はまだ、笑顔になれない人、なりたくない人、様々な思いを抱いた人もいます。しかし、私は、思い出になる行事や楽しみを自粛しなければならぬ今こそ、日常が当たり前ではないと気付けた今だからこそ、祖母から教わった「常に笑顔でいる」ことを実践していくのだと心に決めました。今すぐでなくても、私が笑顔で居続けることで、相手の心を開くことができる。私は信じています。それは、祖母が私に続けてきてくれたこと。だから、私は常に笑顔で過ごしていきます。

「常に笑顔でいなさい。」私の大好きな、自慢の祖母の言葉です。